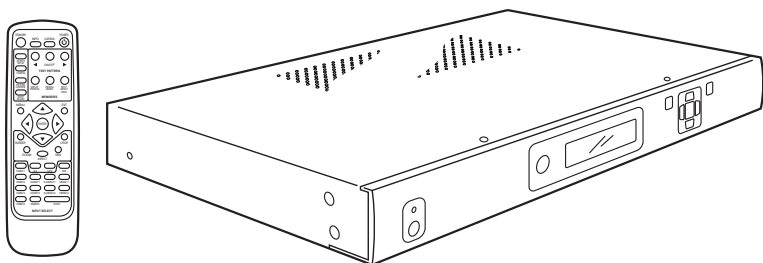


| | |
|-----------------------|---|
| 本製品の接続対応機種 | |
| DLA-HD10K シリーズ | |
| | <p>本製品は上記機種専用です。上記以外の機種に接続して使用した場合、性能を保証することはできません。</p> <p>専用機として使用するため、本書（取扱説明書）には、使用しない機能説明や仕様についても記載しています。</p> |

D-ILA® AVハブプロセッサ

型名 **LD-HD1K**



お買い上げいただき、ありがとうございます。
 ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、
 正しくお使いください。
 お読みになったあとは、後日調べたいときのために
 保証書と一緒に大切に保存してください。
 * D-ILA® は日本ビクターの登録商標です。

| 目 次 | |
|-------------------------------|----|
| 安全上のご注意 | 2 |
| 付属品／各部のなまえとはたらき | 5 |
| 付属品を確認する | 5 |
| 本体 - 前面 | 5 |
| 本体 - 背面 | 6 |
| リモコン | 8 |
| 設置と接続 | 11 |
| 設置するときの注意 | 11 |
| 機器との接続 | 12 |
| 電源を入れる | 13 |
| 基本操作 | 14 |
| 初めに出力設定をする | 14 |
| 画面表示(オンスクリーン表示)と操作 | 15 |
| メニューで行う調整と設定 | 16 |
| メニュー一覧 | 16 |
| メニューの内容 | 16 |
| 保障とアフターサービス保証書 (必ずお読みください) | 22 |
| 主な仕様 | 23 |

はじめに

準備

操作

その他

安全上のご注意

「安全上のご注意」の絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。

これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。



警告

この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。



注意

この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、傷害を負ったり、物的損害が想定される内容です。十分注意してください。

絵表示の説明

■注意（警告を含む）が必要なことを示す記号



一般的注意



感電注意

■してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止



水場での使用禁止



ぬれ手禁止



分解禁止



接触禁止



水ぬれ禁止

■必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号



電源プラグを抜く



一般的指示



アース線をつなぐ



警告

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



● 万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



● 万一、機器の内部に異物などが入った場合は、まず差し込みプラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。（特にお子様のいるご家庭や施設ではご注意ください。）



● 画面が映らない、各機能の動作状態を示すランプ点灯が異常などの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。



● 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは外さないでください。感電や故障、火災の原因となります。



● この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。









● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



| | |
|--|---|
| ● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。 |  |
| ● この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。(特にお子様のいるご家庭や施設ではご注意ください。) |  |
| ● AC アダプターおよび電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。 |  |
| ● 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 |  |
| ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。 |  |
| ● 本機および本機に付属されている AC アダプターを改造したり分解したりしないでください。火災・感電の原因となります。 |  |
| ● 公衆浴場、温泉、風呂場等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。 |  |
| ● 雷が鳴り出したら差し込みプラグには触れないでください。感電の原因となります。 |  |
| ● 屋外で使用していて、雷が鳴り出したら、すぐに使用を中止しこの機器から離れてください。落雷の原因となります。 |  |
| ● 壁や他の機器と間隔をあけて設置してください。排気口から温風として排気される内部熱が遮断されたり、他の機器からの排気熱が本機に入り込むなどして内部に熱がこもり、火災の原因となります。また、排気口からは温風が出ますので、やけどや他の機器への損害を与える原因となります。 |  |
| ● AC アダプターおよび電源コードは付属品を使用してください。付属品以外の AC アダプターや電源コードを使用すると、火災・感電の原因となります。 |  |
| ● 本機に付属されている AC アダプターおよび電源コードを他の機器に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。 |  |

注意

| | |
|--|---|
| ● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 |  |
| ● 調理台や加湿機のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 |  |
| ● キャスター付き台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 |  |
| ● この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ● この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。 ● 倉庫、押し入れ、本箱などの風通しの悪い狭い所に押し込む。 ● テーブルクロスなどを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。 |  |
| ● この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭や施設ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。 |   |

安全上のご注意（つづき）

| | | |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● この機器の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。 |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 | |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 差し込みプラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。 | |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 | |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手でこの機器の操作や、この機器に触れたりしないでください。感電の原因となることがあります。 | |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず差し込みプラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コード、転倒防止具をはずしたことを確認の上、行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、この機器を運ぶときは、バランスに気を付けて、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となることがあります。 |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● お手入れの際は安全のため差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。 | |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 長期休業や旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。 | |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。この機器の内部にほこりがたまると、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。 | |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 直射日光があたる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。また、金魚鉢や水の入ったペットボトルなどレンズ効果を起こすものに注意してください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。 | |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● テレビ、ビデオ、コンピューターなどを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。 | |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● この機器の上に他の機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。 | |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 機器との接続がすべて終わってから電源プラグをつないでください。コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因となることがあります。また、電源コードは機器本体につないでから、壁のコンセントに差し込んでください。 | |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを抜くときは壁側のコンセントから抜いてください。壁側のコンセントから抜かないと感電の原因となることがあります。電源コードは壁側のコンセントから先に抜き、そして、機器側の順で抜きます。また、抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。 | |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 通電中の AC アダプターに長時間、触れないでください。低温やけのおそれがあります。 | |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 機器は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置に容易に手が届くようにしてください。 | |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 通電中の AC アダプターの上に敷物などをかけたり、暖房器具など発熱する器具の近くに置かないでください。火災・故障の原因となることがあります。 | |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグと AC アダプター、および AC アダプターと本体が不完全な接続状態で使用しないでください。電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。 | |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグにホコリや金属を付着させないでください。火災や感電の原因となります。付着したときは、電源プラグを抜いて、取り除いてください。 | |  |

付属品／各部のなまえとはたらき

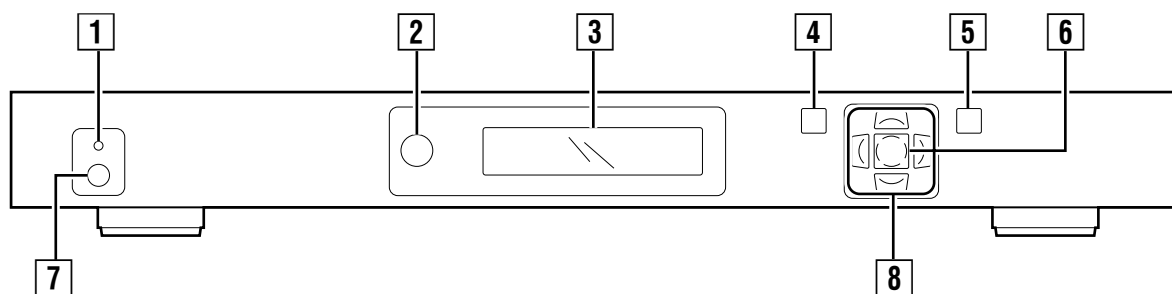
付属品を確認する

本機には次の付属品が梱包されています。付属品をご確認ください。

万一、不足しているものがございましたら、お手数でもお買い上げの販売店にご連絡ください。

| | |
|-----------------------|-------|
| 取扱説明書 | × 1 冊 |
| サービス窓口案内 | × 1 枚 |
| 保証書 | × 1 冊 |
| 電源コード | × 1 本 |
| AC アダプター | × 1 個 |
| HDMI-DVI ケーブル | × 1 本 |
| リモコン | × 1 個 |
| 単 4 乾電池 (動作確認用) | × 2 個 |

本体-前面



1 ステータス LED

消灯：
スタンバイモードのとき。

赤色：
選択されている入力端子に何も接続されていないとき。選択されている入力端子にケーブルが接続されているが、入力信号が無いとき。

→選択している入力端子に信号を入力してください。

青色：
動作状態で信号が入力されているとき。

緑色：
本機で使用できない信号が入力されたとき。

→本機が使用できる信号を入力してください。
(P.7 ページ)

2 リモコン受信窓

リモコンで操作するときは、リモコンをここにに向けて操作します。

3 本体表示窓

本機のメニューの項目や本機の情報を表示します。

4 [MENU](メニュー)ボタン

本機の設定を変えたいときに押します。もう一度押すと、設定状態を終了します。(本体表示と画面のメニューが消えます。)

5 [EXIT](エグジット)ボタン

ひとつ前のメニューに戻るときに押します。
戻るメニューがないときは、メニューが消えます。

6 [ENTER](エンター)ボタン

メニューで選択された項目を確定するときに押します。

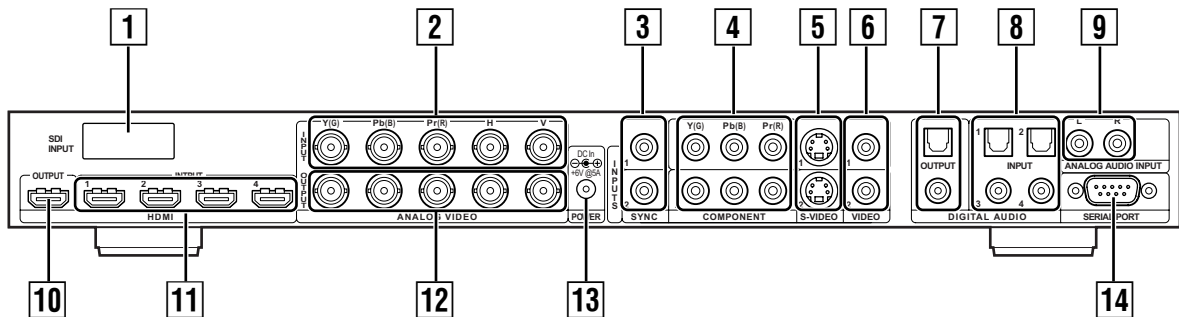
7 電源 / スタンバイボタン

本機がスタンバイモードのときに押すと、本機の電源が入ります。もう一度押すと、スタンバイモードになります。

8 [▲ / ▼ / ◀ / ▶](ナビゲーション)ボタン

メニューの項目を移動するときに押します。
[◀/▶]ボタンで入力ソースの切換ができます。

本体-背面



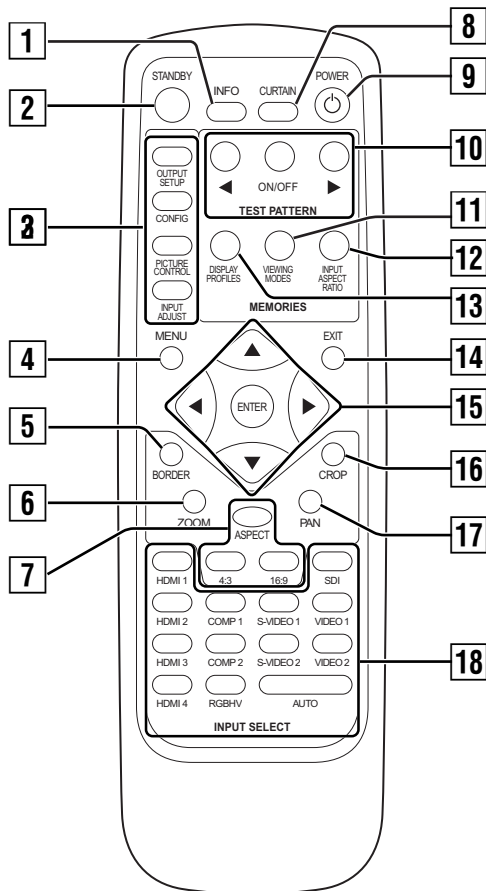
- 1** [SDI INPUT] 端子
使用しません。
- 2** [ANALOG VIDEO INPUT] 端子
(Y(G), Pb(B), Pr(R), H, V BNC 端子)
色差コンポーネント信号やアナログRGB信号を入力します。
- 3** [SYNC INPUT 1/2] 端子(RCA 端子)
[COMPONENT INPUT 1/2] 端子にアナログRGB信号を入力するとき、同期信号を入力します。
- 4** [COMPONENT INPUT 1/2] 端子
(Y(G), Pb(B), Pr(R) RCA 端子)
色差コンポーネント信号やアナログRGB信号を入力します。
- 5** [S-VIDEO INPUT 1/2] 端子(ミニ DIN4 ピン)
ビデオデッキなどのS映像(Y/C)信号を入力します。
- 6** [VIDEO INPUT 1/2] 端子(RCA 端子)
ビデオデッキなどのコンポジットビデオ信号を入力します。
- 7** [DIGITAL AUDIO OUTPUT] 端子
(光 / 同軸端子)
デジタル音声信号を出力します。
- 8** [DIGITAL AUDIO INPUT 1/2] 端子(光端子)
[DIGITAL AUDIO INPUT 3/4] 端子(同軸 RCA 端子)
DVDプレーヤーなどのデジタル音声信号を入力します。
- 9** [ANALOG AUDIO INPUT L/R] 端子(RCA 端子)
ビデオデッキなどのアナログ音声出力信号を入力します。
- 10** [HDMI OUTPUT] 端子
HDCPに準拠したデジタルビデオ信号を出力します。
- 11** [HDMI INPUT 1/2/3/4] 端子
DVDレコーダーなどの、HDCPに準拠したデジタルビデオ信号を入力します。
- 12** [ANALOG VIDEO OUTPUT] 端子
アナログ信号出力です。RGBHVまたはYPbPr信号の入力端子を持つディスプレイ機器と接続します。
● 通常使用しません。
- 13** [POWER] 端子 (DC IN +6V)
付属のACアダプターを接続します。(☞13ページ)
- 14** [SERIAL PORT] 端子(Dsub9 ピン)
使用しません。

各端子に対応する信号は以下の表のとおりです。

| 入力端子 | 入力信号 |
|---------------------------------------|--|
| ビデオ | |
| VIDEO INPUT 1/2 S-VIDEO INPUT 1/2 | NTSC, PAL, PAL-M, SECAM |
| COMPONENT INPUT 1/2 SYNC INPUT 1/2 | 480i, 480p, 576i, 576p, 720p/50Hz, 720p/60Hz, 1080i/50Hz, 1080i/60Hz (YPbPr/RGBS) |
| ANALOG VIDEO INPUT | 480p, 576p, 720p/50Hz, 720p/60Hz, 1080i/50Hz, 1080i/60Hz (YPbPr/RGBHV) |
| HDMI INPUT 1/2/3/4 | 480i, 480p, 576i, 576p, 720p/50Hz, 720p/60Hz, 1080i/50Hz, 1080i/60Hz (RGB/YCbCr 4:4:4/YCbCr 4:2:2) |
| 音声 | |
| DIGITAL AUDIO INPUT 1/2 (光デジタル) | 24bit/24kHz-96kHz |
| DIGITAL AUDIO INPUT 3/4 (同軸デジタル) | 24bit/24kHz-192kHz |
| HDMI INPUT 1/2/3/4 | HDMI 音声フォーマットに準拠 |
| 出力端子 | 出力信号 |
| ビデオ | |
| ANALOG VIDEO OUTPUT | YPbPr, RGBHV, RGB(Sync on G), RGBS(Sync from H) (解像度は「OUTPUT SETUP」の「Format」を参照) (P.19ページ) |
| HDMI OUTPUT | RGB 4:4:4(8bit), YCbCr 4:4:4(8bit), YCbCr 4:2:2(10bit) (解像度は「OUTPUT SETUP」の「Format」を参照) (P.19ページ) |
| 音声 | |
| DIGITAL AUDIO OUTPUT | 入力音声信号と同じ |
| HDMI OUTPUT | HDMI 音声フォーマットに準拠 |

リモコン

お使いの入力ソースや本機の設定によっては機能しないボタンがあります。



- 1** **[INFO](インフォ)ボタン**
「CONFIGURATION」メニューの「Information」メニューの項目を表示します。(☞19ページ)
- 2** **[STANDBY](スタンバイ)ボタン**
本機の電源が入っているときに押すと、スタンバイモードになります。

- 3** **サブメニューボタン**
[OUTPUT SETUP](アウトプットセットアップ)ボタン
「OUTPUT SETUP」メニューの項目を表示します。押すごとに項目が移動します。(☞19ページ)
- [CONFIG](コンフィグ)ボタン**
「CONFIGURATION」メニューの項目を表示します。押すごとに項目が移動します。(☞18ページ)
- [PICTURE CONTROL](ピクチャーコントロール)ボタン**
「PICTURE CONTROL」メニューの項目を表示します。押すごとに項目が移動します。(☞18ページ)
- [INPUT ADJUST](インプットアジャスト)ボタン**
「INPUT ADJUST」メニューの項目を表示します。押すごとに項目が移動します。(☞17ページ)

- 4** **[MENU](メニュー)ボタン**
本機の設定を変えたいときに押します。もう一度押すと、設定状態を終了します。(本体表示と画面のメニューが消えます。)(☞16ページ)
- 5** **[BORDER](ボーダー)ボタン**
「INPUT ASP. RATIO」メニューの「Borders」メニューの項目を表示します。(☞17ページ)
- 6** **[ZOOM](ズーム)ボタン**
「INPUT ASP. RATIO」メニューの「Zoom」メニューの項目を表示します。(☞16ページ)
- 7** **アスペクトボタン**
[ASPECT](アスペクト)ボタン
「INPUT ASP. RATIO」メニューの項目を表示します。押すごとに項目が移動します。(☞16ページ)
- [4:3] ボタン**
「INPUT ASP. RATIO」メニューの「Preset」で「4:3 F.Frame」を設定します。(☞17ページ)
- [16:9] ボタン**
「INPUT ASP. RATIO」メニューの「Preset」で「16:9 F.Frame」を設定します。(☞17ページ)

8 [CURTAIN](カーテン)ボタン

映像を一時的に見えなくするときに使用します。

9 [POWER](パワー)ボタン

本機がスタンバイモードのときに押すと、本機の電源が入ります。

10 テストパターンボタン

[ON/OFF] ボタン

テストパターンを表示したり、表示を消したりします。

[◀]、[▶] ボタン

テストパターンを切替えます。

11 [VIEWING MODE] ボタン

使用しません。

12 [INPUT ASPECT RATIO](インプット・アスペクト・レシオ)ボタン

「INPUT ASP. RATIO」メニューの「Preset」項目を表示します。(☞17ページ)

13 [DISPLAY PROFILE](ディスプレイ・プロファイル)ボタン

「OUTPUT SETUP」メニューの「Display Profile」項目を表示します。(☞21ページ)

14 [EXIT](エグジット)ボタン

ひとつ前のメニューに戻るときに押します。戻るメニューがないときは、メニューが消えます。

15 [▲ / ▼ / ◀ / ▶]、[ENTER] ボタン

メニューを操作するときに使用します。

16 [CROP](クロップ)ボタン

使用しません。

17 [PAN](パン)ボタン

「INPUT ASP. RATIO」メニューの「Pan」メニューの項目を表示します。(☞16ページ)

18 ダイレクト入力選択ボタン

[HDMI 1] ボタン

[HDMI INPUT 1]端子からの映像に切替えます。

[HDMI 2] ボタン

[HDMI INPUT 2]端子からの映像に切替えます。

[HDMI 3] ボタン

[HDMI INPUT 3]端子からの映像に切替えます。

[HDMI 4] ボタン

[HDMI INPUT 4]端子からの映像に切替えます。

[COMP 1] ボタン

[COMPONENT INPUT 1]端子からの映像に切替えます。

[COMP 2] ボタン

[COMPONENT INPUT 2]端子からの映像に切替えます。

[RGBHV] ボタン

[ANALOG VIDEO INPUT] 端子 (BNC 端子) からの映像に切替えます。

[S-VIDEO 1] ボタン

[S-VIDEO INPUT 1]端子からの映像に切替えます。

[S-VIDEO 2] ボタン

[S-VIDEO INPUT 2]端子からの映像に切替えます。

[SDI] ボタン

[SDI INPUT] 端子からの映像に切替えます。(使用しません)

[VIDEO 1] ボタン

[VIDEO INPUT 1]端子からの映像に切替えます。

[VIDEO 2] ボタン

[VIDEO INPUT 2]端子からの映像に切替えます。

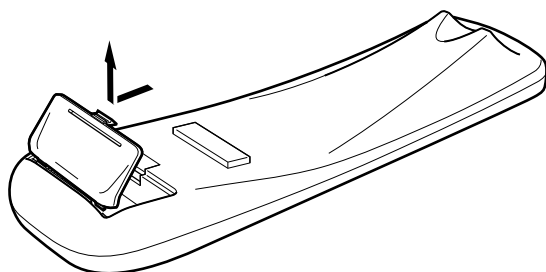
[AUTO] ボタン

入力信号を自動判別して、入力端子の映像を自動的に切替えます。

リモコンに乾電池を入れてください。また、リモコンが正常に動作しなくなったら、新しい乾電池と交換してください。

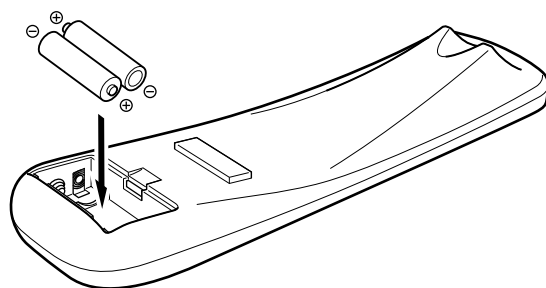
1 裏ぶたを開けます

裏ぶたの上部を指で手前に押しながら、はずします。



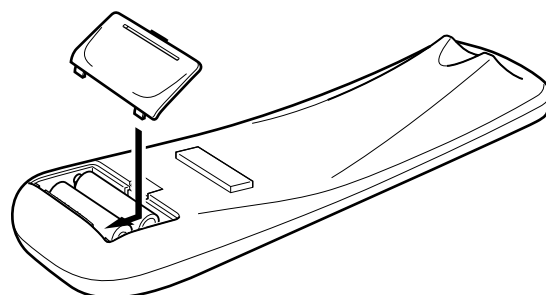
2 乾電池を入れます

付属の乾電池（単4形）2本を⊕、⊖の表示どおり入れます。ショートを防ぐため、必ず電池の⊖（マイナス）側を先に入れてください。



3 裏ぶたを閉めます

裏ぶたのつめをリモコンの溝に入れ、閉じます。



乾電池の使いかたの注意



注意

電池は間違った使いかたをすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。

次のことにご注意ください。

- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- 電池は種類によって特性が異なるので種類の違う電池は混ぜて使わない。
- 電池ケースのプラス⊕とマイナス⊖の表示どおりに入れる。
- 電池を入れるときは、ショートを防ぐため、必ず電池のマイナス⊖側を先に入れる。
- 電池を火の中へ入れたり、充電したりしない。
- 指定された電池以外は使わない。
- 長期間使用しないときには、乾電池を取りだしておく。
- 電池はできるだけマンガン電池をお使いください。充電式電池やアルカリ乾電池は使用しないでください。
- 電池に表示されている注意事項をお読みください。

電池の寿命は

電池は普通の使いかたで、約6か月から1年間使えますが、付属の電池は動作確認用ですので短くなる場合があります。

液漏れについて

電池が消耗して使えなくなったときは、すぐに取りだして交換してください。

そのままにしておくと液漏れの原因になったり、液漏れが故障の原因となることがあります。

設置するときの注意

本機を設置するときには、次のことをよくお読みになって設置してください。

設置する環境



注意

本機は精密機器ですので、次のような場所での設置や使用はおやめください。火災や故障の原因となることがあります。

- 水や湿気、ほこりの多いところ
- 油煙やたばこの煙のあたるところ
- じゅうたんや布団などの柔らかいものの上
- 直射日光があたって高温になるところ
- 高温・低温のところ

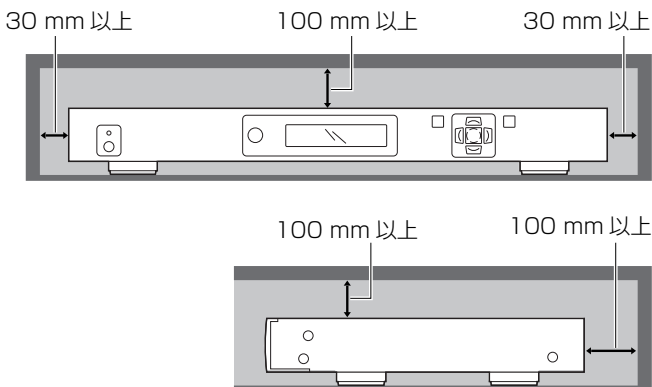
本機をラックに設置する場合は、通風があることを確認してください。ラックにパワーアンプなど熱を発生する機器を設置するときは、ラックにファンを取り付けてください。

許容動作温度範囲：+ 5 °C ~ + 35 °C

許容動作相対湿度範囲：20 % ~ 80 % (非結露)

許容保存温度範囲：- 10 °C ~ + 60 °C

最低限必要な空間



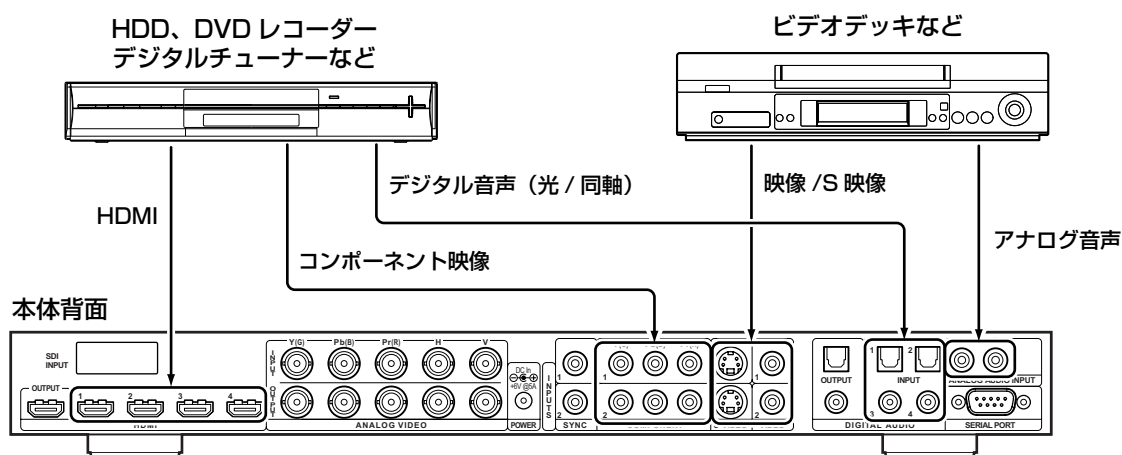
- 本機を密閉したり、通気孔をふさいだりしないでください。また、設置のときは放熱をよくするため、本機の周囲に十分なスペースを確保してください。
- 本機の通気孔は、上面と底面にあります。
- 通電中は、本機の上に物をのせないでください。

機器との接続

接続を始める前に、必ず本機と接続する機器の電源を切ってください。

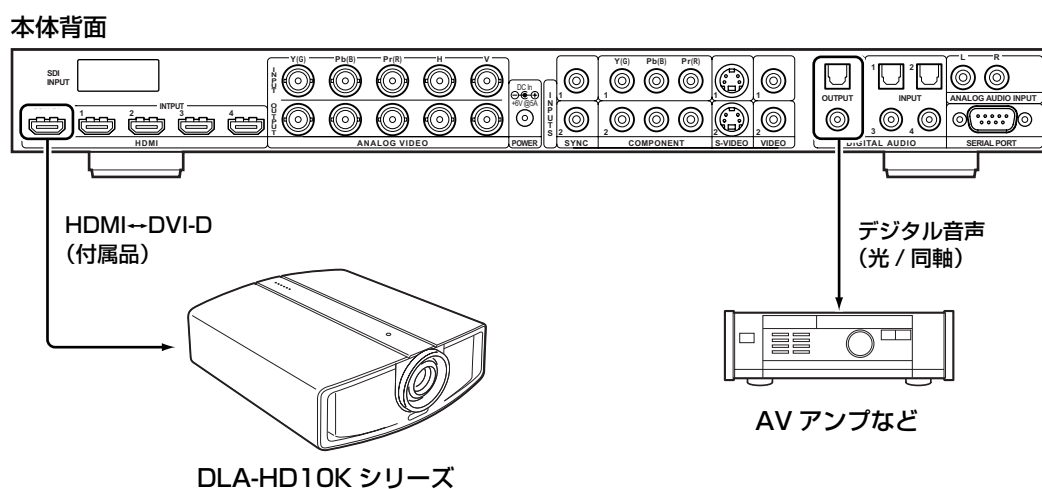
入力機器との接続

- 接続する機器によっては、専用の接続ケーブルやアダプターが必要な場合があります。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続機器および接続方法は一例です。



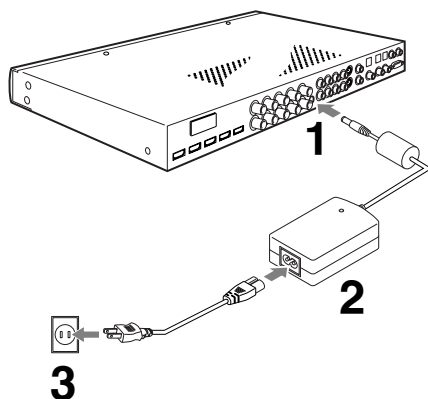
プロジェクターとアンプとの接続

- 接続するプロジェクターの取扱説明書をよくお読みください。
- 本機に付属されているHDMI-DVIケーブルをご使用ください。本機に付属されているケーブルよりも長いケーブルを使用するときは、分配システムや光ファイバーケーブルの使用を推奨します。
- ご使用になるケーブルの性能によっては信号が減衰し、映像が不安定になることがあります。

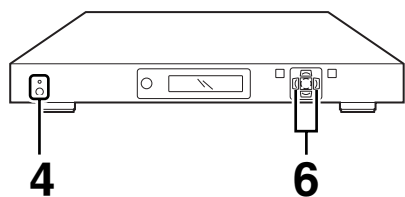


電源を入れる

電源コードを接続差し込む前に、機器の接続が済んでいることを確認してください。



3



6

1 ACアダプターの出力側コードを本機の[DC In]端子に接続します

2 ACアダプターに電源コードを付けます

3 電源コードをコンセントへ差し込みます

- 本体表示窓に約3秒間だけ以下の表示がされます。

JVC LD-HD1K
Powered by ABT

ステータスLEDが点灯していない場合は、次の手順で動作状態にします。

4 本体の電源／スタンバイボタンを押して電源を入れます

- ステータスLEDが赤色に点灯します。

5 入力ソースの電源を入れます。

6 [◀/▶] ボタンを押して、入力ソースを選びます

- 信号が検出されるとステータスLEDが青色に点灯します。

火災・感電防止の注意



注意

- 機器を使用しないときは、機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 付属の電源コード以外で接続しないでください。
- 付属のACアダプター以外で接続しないでください。
- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損します。
- ACアダプターを改造したり分解したりしないでください。
- ACアダプターを他の機器に使用しないでください。
- ぬれた手でプラグを抜き差ししないでください。
- 電源プラグにホコリや金属を付着させないでください。
- 通電中のACアダプターに敷物などをかけたり、暖房器具など発熱する器具の近くに置かないでください。
- 電源プラグとACアダプター、およびACアダプターと本体が不完全な接続状態で使用しないでください。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

初めに出力設定をする

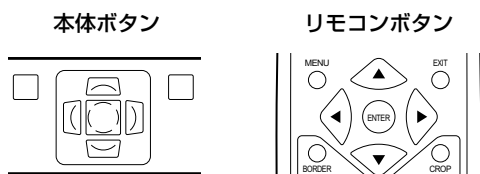
本機の工場出荷時の設定状態は以下のようになっています。

- 入力端子の選択：Auto（入力端子に入力された信号を自動的に検出します。）
- 出力端子の選択：HDMI (Digital) (RGB 4:4:4 信号で出力されます。)
- 出力画面フォーマット：1080p-60

もし初期状態で画面が表示されない場合は、次の手順で出力の設定をしてください。

- HDCP信号の場合、ディスプレイに表示されるまで数十秒かかります。

本体表示窓を見ながらリモコンまたは本体前面のボタンを使用していきます。



- 操作を間違えたときは、[EXIT] ボタンを押してください。また、[MENU] ボタンを押してメニューを終了し、もう一度始めから操作することもできます。

1 [MENU] ボタンを押します。

- 本体表示窓にメニューが表示されます。

MAIN MENU
INPUT SELECT

2 [▲] ボタンを押します。

MAIN MENU
OUTPUT SETUP

3 [ENTER] ボタンを押します。

OUTPUT SETUP
Analog/Digital

4 [ENTER] ボタンを押します。

Analog/Digital
BNC (Analog)

5 [▼] ボタンを押して、「HDMI (Digital)」を選びます。

Analog/Digital
HDMI (Digital)

用語解説

NTSC:

National Television System Committeeの略。日本やアメリカで採用されているテレビ放送の規格。

PAL:

Phase Alternating Lineの略。

ヨーロッパなどで採用されているテレビ放送の規格。

SECAM:

SEquential Couleur A Memoireの略。

ヨーロッパなどで採用されているテレビ放送の規格。

6 [ENTER] ボタンを押します。

OUTPUT SETUP
Analog/Digital

7 [▼] ボタンを押します。

OUTPUT SETUP
Format

8 [ENTER] ボタンを押します。

Format
420p

9 [▼] ボタンを数回押して、「1080p-60」または「1080p-50」を選びます。

- 入力信号がNTSCのときは、「1080p-60」を選びます。
- 入力信号がPAL/SECAMのときは、「1080p-50」を選びます。

Format
1080p-60

10 [ENTER] ボタンを押して、確定します。

11 [MENU] ボタンを押して、設定完了です。

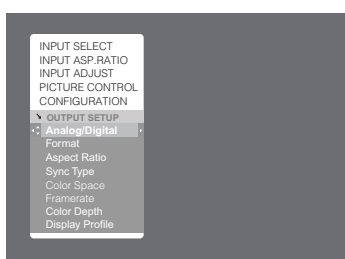
- 本体表示窓の表示が消えます。
(約30秒間、何も操作をしないと自動的に設定状態が解除され、表示が消えます。)

画面表示(オンスクリーン表示)と操作

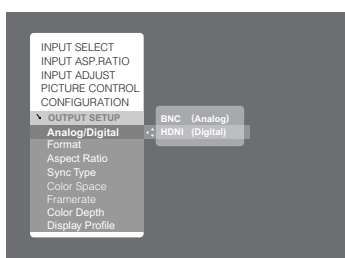
メニューは映像の上に表示されますので、実際に設定を変えたときの映像を確認しながら行えます。もし、映像が映らなくなった場合は、本体表示窓の表示を見ながらもとの設定に戻してください。



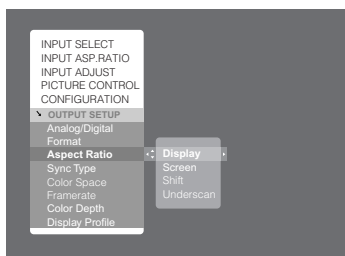
[MENU] ボタンを押すとメニューが表示されます。
もう一度、[MENU] ボタンを押すとメニューが消えます。
メニューは、[EXIT] ボタンを押しても消えます。
左の図は、例として [OUTPUT SETUP] を選んでいる状態です。



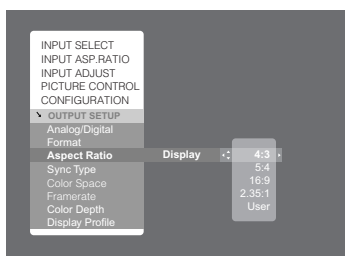
[ENTER] または [▶] ボタンを押すと、サブメニューが現れます。



[ENTER] または [▶] ボタンを押すと、次のサブメニューが現れます。
[▲] または [▼] ボタンを押すと設定が切り換ります。



サブメニューの右側に ▶ マークがあるときは、さらに詳しいサブメニューがあります。



1 つ前のメニューに戻るときは、[EXIT] または [◀] ボタンを押します。
メニュー表示を終了するとき、[MENU] ボタンを押します。

メニューで行う調整と設定

本機のメニューは次のような構成になっています。

メニューは本体表示窓と本機と接続しているプロジェクターを通してスクリーンに表示されます。

メニュー一覽

INPUT SELECT

INPUT ASP. RATIO

Frame AR
Active Input AR
Zoom
Pan
Borders
Preset
Save

INPUT ADJUST

Border Level
Overscan
Line Offset
HDMI Input Control
VCR Mode
Film Mode
Auto Priority
Audio Input
AV Lip Sync

PICTURE CONTROL

Brightness
Contrast
Saturation
Hue
Sharpness(Comp)
Y/C Delay
CUE-Correction

CONFIGURATION

Test Patterns
Auto Standby
HDCP Mode
Power LED
User Mode
Serial Port Rate
Factory Default
Software Update
Information

OUTPUT SETUP

Analog/Digital
Format
Aspect Ratio
Sync Type
Sync Polarity
Colorspace
Frame Rate
Color Depth
Display Profile

メニューの内容

INPUT SELECT

入力ソースを切替ます。リモコンの入力選択ボタンと同じ機能です。SDIは対応していません。

設定値：
Video 1, Video 2, S-Video 1, S-Video 2,
Component 1, Component 2, RGBHV, HDMI 1,
HDMI 2, HDMI 3, HDMI 4, Auto, SDI
初期値：Auto

INPUT ASP. RATIO

入力映像のアスペクト比やサイズなどの設定をします。

Frame AR(フレーム・アスペクト・レシオ)

入力映像が、ワイドテレビ用に圧縮されている映像のときは、「16:9」に設定します。

設定値：4:3, 16:9
初期値：16:9

Active Input AR(アクティブ・インプット・アスペクト・レシオ)

映像または番組(映画)の制作された縦横比です。このアスペクト比は通常、DVDディスクの裏カバーに明記されています。設定値によって上下のボーダー(黒帯)が増減します。「Frame AR」と「Active Input AR」が同じアスペクト比の場合をフルフレームと呼びます。

設定値：1.33:1, 1.55:1, 1.66:1, 1.78:1,
1.85:1, 2.35:1, User(1.01:1 ~ 3.00:1)
初期値：1.33:1

- 1.33:1=4:3, 1.55:1=14:9, 1.66:1=15:9, 1.78:1=16:9の関係になっています。

Zoom(ズーム)

入力映像を水平方向(Hor.)、垂直方向(Ver.)に拡大して表示することができます。

設定値：Hor.(0 ~ 100), Ver.(0 ~ 100)
初期値：Hor.(0), Ver.(0)

Pan(パン)

ズームしたときに、表示するエリアを上下方向(Ver.)、左右方向(Hor.)に移動することができます。

設定値：Hor.(0 ~ 100), Ver.(0 ~ 100)
初期値：Hor.(0), Ver.(0)

Borders(ボーダー)

映像の周囲(上下端(Ver.) / 左右端(Hor.))に、ボーダー(黒帯)を付けます。入力アスペクト比が 4:3 の映像に対して、出力アスペクト比を「16:9」にすると、左右に黒い帯が表示されます。この帯の幅を変更することができます。

[設定値 : Hor.(0 ~ 200), Ver.(0 ~ 200)
初期値 : Hor.(0), Ver.(0)]

Preset(プリセット)

固定されたプリセット2つと、ユーザーが保存できるプリセットが4つ用意されています。

[設定値 :
4:3 F.Frame, 16:9 F.Frame, Preset 1-4
初期値 :

- 固定プリセットは次の設定です。

4:3 F.Frame

[Frame AR(4:3), Active Input AR(1.33:1)]

16:9 F.Frame

[Frame AR(16:9), Active Input AR(1.78:1)]

Save(セーブ)

現在の設定値で、「Frame AR」、「Active Input AR」、「Zoom」、「Pan」、「Borders」の設定を保存します。

[設定値 : Preset 1-4]

- 保存すると、以前に設定したプリセットの内容に上書きされますので、注意してください。

INPUT ADJUST

入力映像信号の調整をします。

Border Level(ボーダーレベル)

アスペクト比を変えたときに、上下や左右にボーダー(黒帯)が表示されます。値を大きくすると黒から灰色に変わります。この設定は入力ソースや他の設定にかかわらず同じになります。

[設定値 : 0 ~ 100
初期値 : 0]

Overscan(オーバースキャン)

入力映像を水平 / 垂直ともに均等に拡大します。映像の周囲にある映像情報を見えなくするときに使用します。

[設定値 : 0 ~ 20
初期値 : 0]

- この値は、すべての入力アスペクト比に対応し、「Zoom」値とは独立しています。

Line Offset(ラインオフセット)

HDMI 信号を入力したとき、映像を垂直方向に調整することができます。この機能は、NTSC と PAL/SECAM 方式で、それぞれ異なる設定ができます。

[設定値 : 0 ~ 30
初期値 : 0]

HDMI Input Control(HDMI インプットコントロール)

HDMI 入力端子の信号フォーマットを設定します。

[設定値 : RGB 4:4:4, YCbCr 4:2:2, YCbCr 4:4:4
初期値 : RGB 4:4:4]

- RGB 4:4:4 は、DVI の標準フォーマットです。

VCR Mode(VCR モード)

ビデオデッキの再生時(特に早送り、巻戻し、スロー、コマ送り、一時停止の各再生時)に、本機からの出力信号を確実にするために、出力タイミングを入力タイミングから完全に切り離します。

[設定値 : Off, On, Auto
初期値 : Off]

- On :

出力タイミングは「Frame Rate」設定と関係なく、入力タイミングから切り離されます。

- Off :

出力タイミングは「Frame Rate」設定に依存します。

- Auto :

ビデオデッキからの信号を検出すると、「On」と同じ動きをします。

Film Mode(フィルムモード)

フィルム映像信号をプログレッシブ化する際に、フィルム映像の検出を行います。通常は自動検出(Auto)にしておきます。

[設定値 : Off, Film Bias, Auto
初期値 : Auto]

- Off :

プログレッシブ化処理でフィルム検出を行いません。

- Film Bias :

フィルムモードの検出を改善します。例えば、PAL/SECAM でのフィルム入力映像を検出する場合で改善します。

- Auto :

フィルム映像信号の検出を改善します。

Auto Priority(オートプライオリティ)

この機能は、入力選択を「Auto」に設定した場合と違った優先順位で、入力選択の順番を変えることができます。

[設定値 :
Video 1(1 ~ 12), Video 2(1 ~ 12),
S-Video 1(1 ~ 12), S-Video 2(1 ~ 12),
Component 1,(1 ~ 12),
Component 2(1 ~ 12), RGBHV(1 ~ 12),
HDMI 1(1 ~ 12), HDMI 2(1 ~ 12),
HDMI 3,(1 ~ 2), HDMI 4(1 ~ 12),
SDI(1 ~ 12)
初期値 :
Video 1(1), Video 2(2), S-Video 1(3),
S-Video 2(4), Component 1(5),
Component 2(6), RGBHV(7), HDMI 1(8),
HDMI 2(9), HDMI 3(10), HDMI 4(11), SDI(12)]

メニューで行う調整と設定 (つづき)

Audio Input(オーディオインプット)

現在選択しているビデオ入力の音声入力端子を割り当てます。他の入力の割り当てをするには、ビデオの入力選択を変えてから行います。

〔設定値：Off, Digital 1-4, Analog, HDMI〕
〔初期値：Digital 1(Component 1), Digital 2(S-Video 1), Digital 3(S-Video 2), Digital 4(Component 2), Analog(Video 1)〕

- 通常、HDMI の音声入力と同じ端子に割り当てられています。他の音声入力端子を割り当てることもできます。

AV Lip Sync(AV リップシンク)

本機は映像処理による映像信号の遅れに合わせて、音声入力を自動的に遅らせて出力しています。この音声の遅延を調整することもできます。設定値、ミリ秒単位での遅延の増減を行います。

〔設定値：0 ~ 200〕
〔初期値：0〕

- メニューを選ぶと現在加えられている遅延の設定値を表示します。
- 遅延時間がマイナスになるような設定はできません。

PICTURE CONTROL

出力映像の画質を調整します。

Brightness(ブライトネス)

映像のブライトネスを調整します。

〔設定値：-100 ~ 100〕
〔初期値：0〕

- 設定値を上げると、黒が灰色になります。

Contrast(コントラスト)

映像のコントラストを調整します。

〔設定値：-100 ~ 100〕
〔初期値：0〕

Saturation(サチュレーション)

映像の色の濃さを調整します。

〔設定値：-100 ~ 100〕
〔初期値：0〕

Hue(ヒュー)

映像の色合いを調整します。

〔設定値：-100 ~ 100〕
〔初期値：0〕

- コンポーネント (YPrPb) 信号と PAL/SECAM 信号は、調整できません。

Sharpness(Comp)(シャープネス)

映像の輪郭を調整します。

〔設定値：-100 ~ 100〕
〔初期値：0〕

Y/C Delay(Y/C ディレイ)

入力される S 映像信号によっては、輝度信号 (Y) と色信号 (C) 間で、時間のずれを生じていることがあります。この場合、映像は色にじみを引き起こします。これは、時間のずれにより、映像の色成分と白黒の輝度成分が正常に重ならないために起きます。本機は、これら入力信号の誤差 (時間のずれ) を正常にするため、色信号に合うよう輝度信号の位相を前後に移動し、補正することができます。

〔設定値：-5 ~ 5〕
〔初期値：0〕

CUE-Correction(CUE コレクション)

MPEG エンコードされて、それが不適切にデコードされたビデオ信号に見られる、色にじみや色抜けといった症状 (CUE: クロマ・アップサンプリング・エラー) を低減します。入力信号に CUE があるかどうかかわからない場合、「Auto」にします。

〔設定値：Off, On, Auto〕
〔初期値：Off〕

- Off：入力信号に CUE が無い場合。
- On：入力信号に CUE がある場合。
- Auto：エラーを自動検出して低減します。

CONFIGURATION

本機の動作状態などの設定をします。

Test Patterns(テストパターン)

本機内蔵のテストパターンの設定をします。

- テストパターンの表示/非表示の切換は、リモコンの [TEST PATTERN ON/OFF] ボタンを使用します。

Auto Standby(オートスタンバイ)

「On」に設定した場合、選択している入力端子に信号が無くなると、約 30 秒後に自動的にスタンバイ状態になります。

〔設定値：Off, On〕
〔初期値：Off〕

HDCP Mode(HDCP モード)

HDMI端子から入力されるHDCPの処理の仕方を設定します。

HDCP 信号は、アナログ端子からは出力されません。本機のHDMI出力端子は、HDCP対応のディスプレイ機器にHDMIまたはDVI接続してください。

[設定値 : Off, On
初期値 : On]

- Off :
本機のHDMI入力端子のHDCPを無効にします。
- On :
本機のHDMI入力端子のHDCPを有効にします。

Power LED(パワーLED)

本体前面表示窓のバックライトの設定をします。

[設定値 : Off, On, Auto
初期値 : Auto]

- Off : バックライトは常に消灯状態です。
- On : バックライトは点灯します。
- Auto : 本機を約30秒間、何も操作しないとバックライトは消灯します。

User Mode(ユーザーモード)

「OUTPUT SETUP」メニューにある「Format」項目のタイミングパラメータの調整を制限します。

[設定値 : Basic, Advanced
初期値 : Basic]

- Normal : 設定に制限があります。
- Advanced : すべての設定ができます。

Serial Port Rate(シリアルポートレート)

[SERIAL PORT]端子のボーレートを設定します。本機では使用しません。

[設定値 :
1200, 2400, 4800, 9600, 14400, 19200,
38400, 57600
初期値 : 19200]

Factory Default(ファクトリーデファクト)

工場出荷時の設定に戻します。

[設定値 : No, Yes]

Software Update(ソフトウェアアップデート)

本機では使用しません。動作不良の原因となることがありますので操作しないでください。

[設定値 : No, Yes]

Information(インフォメーション)

次のシステム情報を表示します。

- Input Status (入力状態)
 - Video Source : 映像の入力端子
 - Signal Type : 信号タイプ
 - Audio Source : 音声の入力端子
 - Aspect Ratio (Frame/Active) :
アスペクト比 (フレーム / アクティブ)
- Output Status (出力状態)
 - Resolution : 解像度
 - Frame Rate : フレームレート
 - Line Rate : ラインレート
 - Aspect Ratio (Display/Screen) :
アスペクト比 (ディスプレイ / スクリーン)

OUTPUT SETUP

映像出力信号の設定をします。

Analog/Digital(アナログ / デジタル)

映像信号を出力する端子を設定します。

本機では、「HDMI (Digital)」に設定します。

[設定値 : BNC (Analog), HDMI (Digital)
初期値 : HDMI (Digital)]

- BNC (Analog) :
[ANALOG VIDEO OUTPUT]端子から出力します。
通常使用しません。
- HDMI (Digital) :
[HDMI OUTPUT]端子から出力します。

Format(フォーマット)

出力信号の解像度を設定します。

「1080p-50」または「1080p-60」に設定します。

- 入力信号がNTSCのときは、「1080p-60」に設定します。
- 入力信号がPAL/SECAMのときは、「1080p-50」に設定します。

[設定値 :
480p, 540p, 576p, 720p-50, 720p-60,
1080i-50, 1080i-60, 1080p-50, 1080p-60,
VGA, SVGA, XGA, SXGA, 852 × 480,
852 × 576, 1366 × 768, 1280 × 768,
1024 × 1024, 1024 × 852, 1024 × 567,
848 × 600, 1365 × 1024, 1400 × 1050,
1400 × 788, 960 × 540, 1280 × 960,
1440 × 960, 1440 × 1152,
User
初期値 : 1080p-60]

- User :
下記のタイミングパラメータを調整して、保存しておくことができます。
パラメータ値 :
H-Shift, H-Size, H-Front, H-Sync, H-Back, V-Shift, V-Size, V-Front, V-Sync, V-Back

Aspect Ratio(アスペクトレシオ)

出力アスペクト比の設定をします。

1. Display(ディスプレイ)

本機と接続するディスプレイ機器のアスペクト比を設定します。出力信号は設定アスペクト比に応じて変わります。通常、16:9に設定します。

〔設定値 :
4:3, 5:4, 16:9, 2.35:1,
User(1.00 ~ 3.00)
初期値 : 16:9〕

- 「User」の初期値は、1.78です。

2. Screen(スクリーン)

出力する映像信号のアスペクト比を設定します。「Display」の表示範囲で映像のアスペクト比が設定されるので、ディスプレイで表示される映像の周囲にはボーダー(黒帯)があります

〔設定値 :
4:3, 16:9, 2.35:1, User(1.00 ~ 3.00)
初期値 : 16:9〕

- 「User」の初期値は、1.78です。

3. Shift(シフト)

この機能は、「Display」と「Screen」の設定値が異なるとき、画面上の映像の位置を水平(Hor.)および垂直(Ver.)方向へ移動することができます。

〔設定値 : Hor.(-30 ~ 30), Ver.(-30 ~ 30)
初期値 : Hor.(0), Ver.(0)〕

4. Underscan(アンダースキャン)

通常では、画面の外に出てしまう映像情報を見るときに設定します。

〔設定値 : 0 ~ 100
初期値 : 0〕

Sync Type(シンクタイプ)

同期信号のタイプを設定します。アナログ出力のみ機能します。通常使用しません。

〔設定値 : Basic, Tri-Level, Csync, HV
初期値 : Basic〕

- Basic :
G/Y信号に乗せた2レベルの同期信号(RGB色空間では、RとB信号に同期が乗ることもあります。)
- Tri-Level :
G/Y信号に乗せた3レベルの同期信号(RGB色空間では、RとB信号に同期が乗ることもあります。)
- Csync :
コンポジット同期信号([ANALOG VIDEO OUTPUT H]端子から出力されます。)
- HV :
セパレート同期信号([ANALOG VIDEO OUTPUT H/V]端子から出力されます。)

Sync Polarity(シンクポラリティ)

セパレート同期信号のタイプを設定します。アナログ出力のみ機能します。通常使用しません。

〔設定値 : H+/V+, H+/V-, H-/V+, H-/V-
初期値 : H+/V+〕

- H+/V+ : 正極性の水平同期と正極性の垂直同期信号
- H+/V- : 正極性の水平同期と負極性の垂直同期信号
- H-/V+ : 負極性の水平同期と正極性の垂直同期信号
- H-/V- : 負極性の水平同期と負極性の垂直同期信号

Colorspace(カラースペース)

出力フォーマットの色空間を設定します。アナログはYPbPrとRGB、デジタルはRGBとYCbCrに対応しています。

■アナログの場合(通常使用しません。)

〔設定値 : RGB, YPbPr
初期値 : YPbPr〕

■デジタルの場合

〔設定値 : RGB, YPbPr(4:2:2 or 4:4:4)
初期値 : RGB〕

Frame Rate(フレームレート)

フレームレートの変換をします。50Hzと60Hzの2つの設定があります。

■50Hzの入力信号の場合

〔設定値 :
50Hz Lock, 75Hz Lock, Unlock(25 ~ 120)
初期値 : 50Hz Lock〕

■60Hzの入力信号の場合

〔設定値 :
48Hz Lock, 60Hz Lock, 72Hz Lock,
Unlock(24 ~ 120)
初期値 : 60Hz Lock〕

- 50Hz入力信号に対して、出力フレームレートが50Hzまたは75Hzにロックした信号を出力することができます。60Hz入力信号に対しても同様の機能があります。
- Unlock :
特定のフレームレート値を指定して出力することもできます。(アンロックモード)

Color Depth(カラーデプス)

映像の色の階調幅を設定します。

〔設定値 : Video, PC
初期値 : PC〕

- Video : ビデオ映像に対応した信号を出力します。通常使用しません。
- PC : コンピューターの映像に対応した信号を出力します。

ご注意

16:9の画面サイズのディスプレイ機器に、16:9以外の画像(4:3など)を長時間映さないでください。焼きつきの原因となります。焼きつきは保証対象外となります。

Display Profile(ディスプレイプロファイル)

この機能は、「OUTPUT SETUP」メニューで設定された項目(「Analog/Digital」、「Format」、「Aspect Ratio」、「Colorspace」)をプロファイルとして保存しておくことができます。以下の項目が保存されます。

| |
|--|
| 設定値： Select(Profile 1-4), User, Save(Profile 1-4), Auto(Off, On) |
| 初期値： |

- Select：
プロファイルを読み込みます。「User」プロファイルは、現在の設定状況を保持したプロファイルです。
- Save：
プロファイルの保存をします。
- Auto：
「On」にすると、入力信号に応じてされた設定を自動的に4つのプロファイルに保存します。

保障とアフターサービス保証書(必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

AV ハブプロセッサの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後、8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ご連絡していただきたい内容

| | |
|--------|-------------|
| 品名 | AVハブプロセッサ |
| 型名 | LD-HD1K |
| お買い上げ日 | 年 月 日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |
| ご住所 | 付近の目印等も合わせて |
| お名前 | |
| 電話番号 | () - |
| 訪問ご希望日 | |

■修理料金のしくみ

| | |
|-----|---|
| 技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。 |
| + | |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。 |
| + | |
| 出張料 | 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。 |

| | |
|------|-----------------|
| 便利メモ | お買い上げの販売店 () - |
|------|-----------------|

愛情点検

●長年ご使用のAVハブプロセッサの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像が消えない。



ご使用を
中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

ちょっとした
心づかいで
プロセッサの
安全



お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

1. 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
2. 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。

お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただき ましたご相談窓口にご連絡ください。

主な仕様

| | |
|----------------------------------|--|
| ■ 入力端子 | |
| VIDEO | 2系統、RCA × 2 1.0 Vp-p |
| S-VIDEO | 2系統、ミニDIN 4ピン × 2 Y : 1.0 Vp-p、C : 0.286 Vp-p |
| COMPONENT/RGB SYNC | 2系統、RCA × 6 Y/Gs(Sync on G) : 1.0 Vp-p、Pb/Pr/R/G/B : 0.7 Vp-p 2系統、RCA × 2 1.0 Vp-p 2値と3値同期信号に対応 |
| COMPONENT/RGBHV | 1系統、BNC × 5 Y/Gs(Sync on G)/H/V : 1.0 Vp-p、Pb/Pr/R/G/B : 0.7 Vp-p |
| HDMI | 4系統 (ビデオフォーマットは、入力端子の信号対応表をご覧ください。(P.7ページ)) |
| ANALOG AUDIO | 1系統 2チャンネル(L/R) RCA |
| DIGITAL AUDIO 光デジタル 同軸デジタル | 2系統、S/PDIF Toslink 2系統、S/PDIF RCA |
| SERIAL PORT | 使用しません。 |
| ■ 出力端子 | |
| COMPONENT/RGBHV | 1系統、BNC × 5 Y/Gs(Sync on G)/H/V : 1.0 Vp-p、Pb/Pr/R/G/B : 0.7 Vp-p |
| HDMI | 1系統 |
| DIGITAL AUDIO 光デジタル 同軸デジタル | 1系統、S/PDIF Toslink 1系統、S/PDIF RCA |
| ■ 使用電源 | 直流6 V、5 A以下 (付属ACアダプター使用 交流 100 V、50 HZ/60 Hz) |
| ■ 使用環境 | 温度 : +5 °C ~ +35 °C 湿度 : 20 % ~ 80 % (非結露) (保存温度 : -10 °C ~ +60 °C) |
| ■ 外形寸法 | 約46 mm(H) × 約434 mm(W) × 約263 mm(D)(突起部除く) |
| ■ 質量 | 約3.0Kg |
| ■ 付属品 | (5ページをご覧ください。) |

- 仕様 (メニューを含む) および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- この AV ハブプロセッサを使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
- This digital video processor is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- 写真や図は説明をわかりやすくするために、誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。
- D-ILA は、日本ビクターの登録商標です。
- HDMI は、HDMI Licensing LLC の商標です。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
 お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合には、下記の相談窓口にご相談ください。
 ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、22ページをご覧ください。

修理などのアフターサービスに
 関するご相談

お買い物情報や全般的なご相談

別紙の
 「ビクターサービス窓口案内」
 をご覧ください。

お客様ご相談センター
フリーダイヤル
 **0120-2828-17**
 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
 電話 (045)450-8950
 FAX (045)450-2275
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社
 ILA センター
 〒 221-8528 横浜市神奈川区守屋町 3-12